

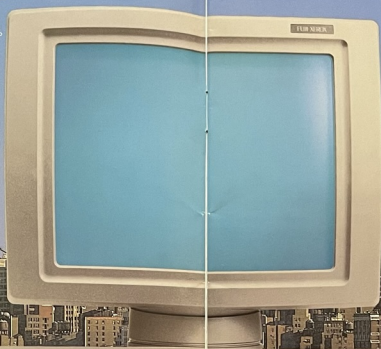
FUJI XEROX®

8080-J Star II



ある日からデスクワークは突然に。

富士ゼロックスが創造した多機能ワークステーション、ゼロックス8080-JStar II。
いままでデスクの上でペンや定規を使って行っていた文書やグラフをこれ1台で作成し、
信じられないほどの手軽さで処理してしまいます。
しかも作成した文書やファイルを保管し、必要に応じて検索、更新することもできます。
それらをやりとりするメールも簡単です。
つまり、書類の山に埋もれるようなデスクワークはもう過去のはなし。
もちろん、プログラミングやコンピューター言語を習う必要もありません。
ゼロックス8080-JStar IIがオフィスの一員となる日。
その時、オフィスは未来へと歩み始めます。



ワープロ、パソコンの次にくるもの。

THE WORK STATION

その日からオフィスはネットワークに。

一連のデスクワークを電子的に処理するゼロックス8080-JStar II。

そのもうひとつの大きな特長は、

イーサネットとよばれる通信媒体によりネットワーク化されていることです。

JStar IIを中心に各共有サーバーを結ぶローカルエリアネットワークを形成します。

これにより、他のJStar IIとのメールの送受信をはじめ、

ファイルサーバー、プリントサーバー、

コミュニケーションサーバーとの通信が自由に行なえます。

遠隔地との情報交換にもロスタイムはなく、

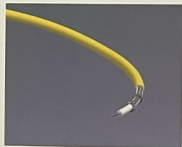
オフィス全体を有機的につなぎ、作業の効率を高めます。



THE NETWORK

JStar IIを中核に各共有サーバー群をつなぐのがイーサネットとよばれるゼロックスが開発したローカルエリアネットワークです。このネットワークは、将来のシステム拡張にも柔軟に対応できる見、信頼性が高く、その情報伝送速度は1秒間に10メガビットです。

イーサネットは、標準プロトコルの規格、標準化された通信機器の運用が容易で、互換性の高いネットワーク環境を実現しています。また、イーサネットは、イーサネットの標準プロトコルである、LANの標準規格として広く採用されています。多くの情報機器メーカーが採用しています。



こんな仕事も画面の中で。 JStar II は多機能な「電子の机」です。

ゼロックス8080-JStar IIのディスプレイには、いつもオフィスで見慣れている道具が絵文字となって並びます。これがゼロックスならではの独創のひとつ「アイコン」です。

そして、アイコンを画面上のカーソルでコントロールするのが「マウス」という指示装置。

書類の保管、検索、プリント、メールの受信といった作業は、アイコンとマウスを基本に行ないます。

ゼロックスはJStar IIを誰にでも理解しやすい、

使いやすいものにするため、

アイコンとマウスという小さくて、大きなアイデアをもちこみました。

だからこそ、多彩なデスクワークを画面の中で行なうJStar IIを「電子の机」とよびます。



印刷

ネットワーク上に登録されているドローやプリンターなどを決められ、必要なものを印刷し出せるいわばオフィスの道具箱です。



レコードファイル

必要な情報とそれに付随する情報群をある書式とでまとめ、一定の書式でまとめ、反復利用価値の高いデータに変換するミニデータベースがこのアイコンに実装するだけで簡単に構築できます。




ファイルドロー

文書、フォルダー、レコードファイルを保管するためのキャビネット。他のユーザーと共有利用ができます。



受信箱

電子メールの受信箱です。他の利用者からネットワークを通じて送られてきた文書が入ります。その画面はです。



文書

最も基本的な「書類」を表わすアイコンです。文書とは文書・図形・表・グラフなどが総合的に処理されたものをいいます。



プリンター

このアイコンに文書やフォルダーのアイコンを重ねるだけで、ネットワーク上のプリンターにその文書がプリントアウトされます。



フォルダー

オフィスでよく見かけるひとつ折りの「フォルダー」です。フォルダーを文書や他のフォルダーを保管するファイルです。



コンピュータ

ゼロックス800IPSで作成した文書、レコードファイルを、Star IIの文書、レコードファイルに変換します。また、JStar IIの文書をゼロックス800IPSで使用できる文書に変換します。



エミュレーター

JStar IIと、ホストコンピュータの端末機と他の機種との文書の相互使用します。



スプレッドシート

列と行から構成される計算シートです。四則演算の基本的な計算から、種々の関数による計算を高速度で行ないます。



見やすいディスプレイ、
疲れの少ないキーボード、
使いやすいマウス。未来オフィスは、
優れたユーザー・インターフェイスから。

みはでも「人間中心」の思想と、ハイレベルの
エレクトロニクス技術の結集でJ StarIIは生
まれた。A4サイズ文書2ページ分を表示
できる大型のピットマップディスプレイ、換
いやすいキーボード。そして、画面上のカーソ
ルに指示を与えるマウス、そのどれもこれも、使
う人の配慮と優れた技術がうかがえます。操
作のつかいも短時間で習得できます。さらに使用
中に操作がわからなくなった場合は「ヘルプ」
機能を利用することにより、的確な指示を受け
られます。J StarIIは、つねに使用者と対話さ
しながら作業を進めます。

J StarIIは、いままでの仕事と同じ感覚で
扱えます。

J StarIIのディスプレイには、キフォスの道具を
具体的な絵文字としたアイコンが表示されま
す。このように、使う人の固有の机の上を電子
的に表現したもの——富士ゼロックスで
は、これを「デスクトップ」と呼び、その考え方は
J StarIIの設計の基本に成れています。情
報の保管、検索、文書やグラフの作成、プ
リント、メールの送受信などキフォスの一連の文
書処理が、いままでの「机の上」の作業と同じ
感覚で行なうことができるのも、こうした考え
によるもので。

画面の中にオフィスの道具があります。

ここでは先にもふれたアイコンの動きを具体的に
なオフィスワークに即して紹介していきましょう。
ファイルキャビネットまで歩いて行き、必要な書
類を探し、それを見るために机にもるといった、
どこかのオフィスでも見かける動作です。これをJ
StarIIでは次のように行ないます。まず画面上
のファイルワーカーのアイコンをクリックして、
キーボード上の「開」キーを押します。これで
ネットワーク上のドローが開き、収容されて
いる文書やフォルダのリストが現れます。
あとは必要なものを選択し画面上によび出す
だけで、座ったまま望みの文書を見ることが
できます。もちろん文書をファイルするのも簡
単な仕事です。

キーボードはこれまでよりも疲れの少ない設計です。

J StarIIのキーボードは文字配列をJIS規
格に準じた59個のカナ漢字変換用タッチ
キーと、左右と上部に配置した10個のファンク
ションキーからなっています。キーボードの左
にはハンジネーター（スピーカ）を内蔵して
おり、誤った操作に対する警告や操作の確認
用として使われます。また、キーボードのステ
イルはパターン薄形、しかも疲れの少ないス
タイルマンな設計です。



大きく見やすいから、ラージ・フォー・マツト・
ディスプレイ、文字もグラフも鮮やかです。

ディスプレイサイズは17インチ。A4の文書な
ら2ページ分表示できる大きさです。80万個
以上のドットから構成されているディスプレイ
は多種類の文字や、グラフ、図形などを鮮明
に表示します。しかも目の位置に合わせて、
左右に動かせるマルチ方式を採用。明度の
調節も自由に行なえます。すみずみまで使う
人本位の設計がされています。大きく、見やすい、
そんな意味から、ラージ・フォー・マツト・ディ
スプレイ化されています。

手のひらに入る高性能。マウスはゼロックス
のアイデアです。

キーボードの横に置かれた小さな装置がマ
ウスです。マウスの底にあるボールの回転によ
り、ディスプレイ上のカーソルは思ひどおりの
方向に動きます。マウスの上部には選択ボタンと
調整ボタンがあり、ディスプレイ上の対象を選
択するには選択ボタン、選択の範囲を決
めるときには調整ボタンを押します。ほとんどの
作業はこのマウスと選択ボタン、そして選択した
ものをどうしたいか伝える4つのファンクション
キーを使うだけ。その結果、J StarIIのキーボ
ードはシンプルで便利なものになっています。また、
マウスはよ手になじみやすいデザイン。
「人間中心」の考えをさらに進めたいJ Star
IIのマウスです。



8080プロセッサはJ StarIIの心臓部です。

8080プロセッサはJ StarIIの全体を制御
する心臓部です。このプロセッサに固定ディ
スク装置を内蔵したユニットは独特のアーキテ
チャの採用により、信頼性に富み、軽量で
コンパクトな設計です。文書の作成、保管、検
索、電子メール、プリントなど、数多くの機能を
机の下で支えます。ディスク容量は26メガバイト、
50メガバイトのいずれかをお選びいただけます。



多彩に機能する仮想キーボード、 独自のウィンドウ。 日本語文章も、図形処理も、 JStar IIは得意です。

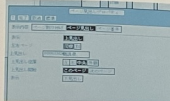
多彩に機能する仮想キーボード

JStar IIのキーボードとは別ウィンドウです。それが多彩に使えます。画面の中にもひとつのキーボード、仮想キーボードももちろん、つよ、1枚のキーボードで10数種類のキーボードに使えます。これにより、ひらがな、カタカナ、英、仏、露などの各国語、数字、記号等の入力が行なえます。複雑なコマンドはディスプレイの中に、メニューとして表示。選択する方式をとり、扱いやすく、高度な情報処理能力を簡単に利用できるよう工夫されています。



文章の作成、編集を容易にするプロパティシート

プロパティシートはマウスで選択した対象物に関する属性などを表示するウィンドウです。プロパティシートには文字、枠グラフ、線など多くのものが用意されています。たとえば、図柄の線や枠、マウスの種類などを変えたい時、この中の必要項目を選ぶだけで、ディスプレイ上の表示も変わります。また、プロパティシートは、字種、文字サイズ、マージン、行間隔の変更などを自由にできるため、文章の編集が容易に行なえます。プロパティシートの選択をマウスで簡単にできるのもJStar IIの特長です。



JStar IIの操作をより正確に、簡単に。

ウィンドウの機能がいっしょです。

●メニューエリア 操作をするとき最初に出現するウィンドウで、JStar IIからのメッセージを加えます。

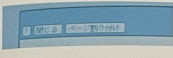


●文章ウィンドウ 文章アイコンを選択して(開)キーを押すと開かれるウィンドウ。6枚の異なる文章を同時にディスプレイに表示できます。また上下・左右に自由にスクロールできるため、見たい部分を手早く探せます。

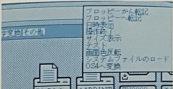
●キーボードウィンドウ キーボードの形をした絵を表示するウィンドウ。同音異義語の選択や各国語、記号などの入力ができます。



●コマンドメニュー(可視メニュー) 通常1枚の命令が表示されています。必要なものをマウスで指示するだけで選択できます。



●補助ウィンドウ 各種コマンドがメニュー式に表示され、マウスの指示で選択できます。



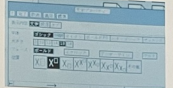
JStar IIは2つの辞書をもっています。

約10万語を記憶した漢字変換用に用いられる基本辞書。そして使用者がニーズに合わせてもう一冊辞書があります。

JStar IIは約7,000種類の文字を使えます。

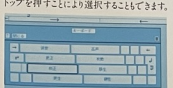
JStar IIが使え文字はJIS第1・第2水準漢字、ひらがな、カタカナ、英文、露文、ギリシャなどの各国の各文字、数字、記号など約7,000種類。字種、サイズも豊富なら、日本語用で明朝体、ゴシック体、欧文用でタテゴシック体、ボール体などが用意されています。サイズは6・8・10・12・14・18・24ポイント種類・字体によって異

なり。また、これらの字体、サイズの指定は、文字プロパティシートでマウスで選択することができます。



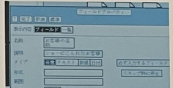
JStar IIの漢字変換方式は2種です。

JStar IIはかな漢字変換方式とローマかな漢字変換方式のどちらから、使いやすいほうを選べます。また日本語に特有の同音異義語は、同じ単語で表示。これをマウスによる選択はもちろん、キーボード上の対応するキーボードを押すことにも選択することができます。



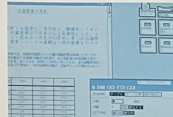
フォーム作成を簡単にするフレームとフォールド

フレームとは文章中の任意の場所に見出しや図柄の入るメニューを確保する5桁*のフォールドとは定形の文章の5桁*で示す可変部分をいいます。この2つを利用してビジネスフォームが簡単に作れます。



テーブル機能が作業を容易にします。

テーブル機能を用いることにより、複雑な表も短時間で作り、その修正作業も簡単です。またテーブル自体の自動演算機能、フォールド機能、枠グラフ機能、そしてレコード処理機能と組み合わせると情報の多次元での活用や高度な文章作成が可能です。



簡単にグラフや図形が作れます。

JStar IIはグラフや図形入りの文章を速く、美しく簡単に表示します。使用者は用意された基本転写図形から適切なものを選び、マウスを用いて描きたいグラフィックに加工します。また「枠グラフプロパティ」を利用すれば、枠グラフに必要なデータをインポートするだけで自動的に作成されます。さらに一度作成した図形を転記することも簡単です。



代表的な仮想キーボード



デスクを離れず、ファイルやプリント、メールを指示。 JStar IIなら文書管理も簡単です。

文書を作成する能力に加え、JStar IIの大きな魅力に文書を管理する働きがあります。オフィスシステムとして最も大切なことは、日々、発生する膨大な文書情報にかんして効率よく保管し、検索し、伝達する。JStar IIならこうした一連の作業をきわめて簡単に処理します。ファイルを探し、それを見てまた元に戻すにもデスクを離れる必要はありません。作成した文書のプリントやメールも簡単な指示で行なえます。しかも、文書を開いて見ることができるのは、あらかじめ登録している人だけですので、機密の保持は万全です。



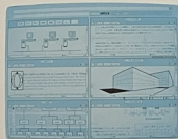
4種類のファイルを用意しています。

文書管理に使用されるのが、下のアイコンです。具体的な絵・文字で表示しているので、ひと目でわかります。



マルチウインドウにより、最大6枚の文書を表示します。

実際に文書を作成する際、机の上に資料やファイルリストを同時に表示することができます。また、文書とコードファイルを互いに関連させることができます。たとえば、文書と作成された受け取り用としてコードファイルに登録されているリストを指定すると、文書中のデータだけをレコードファイルに転記することも可能です。



文書の機密保持対策も万全です。

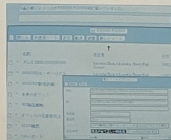
ネットワーク上の他の利用者に自分の文書を見られることはありません。JStar IIを使う際、

自分の名前と一緒に(パスワード(暗号))打ち込む必要があるからです。共有のファイルワークにも必要に応じて検索可能者を限定でき、機密保持は万全です。



メールの送信・受信が手軽にできます。

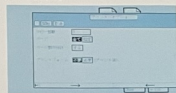
JStar IIは文書の電子メールを送信箱・受信箱のアイコンを使って行ないます。受信箱のアイコンを開くと自分宛に届いたメールを見ることができます。メールを送りたいときは、その文書をマウスで選択し、送信箱のアイコンに重ねます。あとは相手の名前を打ち込むだけで、デスクにいなが相手方の受信箱に配達されます。



文書のプリント指示も簡単です。

文書をプリントしたいときは、その文書のアイコン

をプリンターのアイコンを重ねます。自分のJStar IIから、プリンター指示すればネットワーク上の任意のプリンターが、その文書をプリントアウトします。



JStar IIはレコード処理も可能です。

レコードファイルの内容を一覧したいときは、ビューとよばれる意図画面を開きます。人事ファイル为例にすると、住所、入社年月日など、すべての項目を表示したビューを作ると、「給与」というひとつの項目を表示したビューを作ること可能です。さらにこのビューを見ながら、レコードに含まれるデータの処理、すなわちレコード処理を行なうことができます。たとえば、社員番号順に並んでいるレコードを「あいうえお」順に並べ変えるといった配列の変更、さらに30代で営業のキャリアがある者といった、特定の条件に当てはまるレコードだけを並び出すことも簡単にできます。

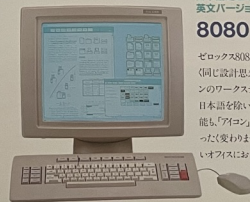
社員番号	姓	名	性別	年齢	入社年月日	所属	職	備考
001	山田	太郎	男	28	1980-01-15	営業	主任	
002	佐藤	花子	女	25	1982-03-10	営業	係長	
003	鈴木	一郎	男	32	1978-05-20	営業	係長	
004	田中	美穂	女	22	1984-07-05	営業	係長	
005	高橋	健二	男	30	1980-09-12	営業	主任	

日本語処理を必要としないオフィスに、
英文バージョンワークステーション。

8080 Star II 26MB 50MB

ゼロックス8080 Star III。JStar IIとはまったく同じ設計思想が生みだれた英文バージョンのワークステーションです。JStar IIから、日本語を除いたマシンで、その後の基本性能も「アゴン」が「マウス」などのアドヴァンスだ変わらません。日本語処理を必要としないオフィスにおすすがめです。

●画面1/4の拡大縮小機能。日本語処理も必要としないオフィスに最適です。
●メールプリンター。ネットワーク上で印刷可能。
●ハードディスク。オプションで追加可能。



ファインディング、プリンティング、ホスト・コンピュータとのやりとり。J Star II は各種情報機器と連けいて、これからのオフィス情報処理システムをつくりあげます。



8080 File Server 50MB/80MB ●●●●

ファイル・サーバーの主な働きは、電子ファイルの管理は電子メールの中継です。電子ファイルは、いわばオフィスのカギです。ネットワークを通じて、どこからでも情報の出入りができます。情報の共有化、つまり情報をより再利用して、効率的なファイル管理システムの構築もできます。もちろん機密保持のためにアクセスの設定もできます。電子メールは、いわばポストです。ワークステーション間の情報交換が自由に行なえ、オフィスでのメール配達時間に電子に処理できます。ファイルする量に応じて50メガバイトと80メガバイトの2タイプ用意されています。



8037 File Server 80MB/MULTIDRIVE(80MBX4) ●

ゼロックス8037ファイル・サーバーは、50メガバイトのマルチプル・アクセスを備え、オフィスでの情報量の増大に対応します。オフィスの共有キヤベネットとして、より多くの情報を収容できます。また、最大4ドライブまで拡張できますので、さらに大規模な情報処理が可能な、そのうちの1つをファイルのバックアップ用として接続すれば、情報の安全性は一段と高まります。もちろん電子メール機能なども、ゼロックス8030ファイル・サーバーと同様です。



8080 Print Server 50MB/80MB ●●●●●●●●

ゼロックス8080プリント・サーバーは、セログラフィ及びレーザー技術から生まれた高性能プリンターです。ワークステーションで作成、検査した文書や、どんな遠隔地へも、毎分4ページのスピードで、1mmあたり24ドットの高精細で鮮明にプリントアウトします。使用できる文字種は漢字・数字・英文字を含む約7000字、サイズはB・8・10・12・14・18・24(インチ)種細小字体によって異なる)といふ用途に力を入れます。ワークステーションのディスプレイに現れたイメージそのままにプリントしますので、業務を効率的に処理し、オフィスの生産性を高めます。ゼロックス8080マルチ・ファンクション・サーバーは、ファイル・サーバーの機能と、プリントサーバーの機能を、同時に合わせたサーバーです。これにより、最小システム構成によるコストダウンを図ることができます。8080プリント・サーバー及び8080マルチ・ファンクション・サーバーの容量は、50メガバイトの2タイプです。それぞれに、レーザー・プリンター・XP-9を接続したシステムとレーザー・プリンター・M-35を接続したシステムの2種類のオプションが用意されており、オフィス環境、業務の内容に応じて、最適なシステムが選べます。

● XP-9プリンターは別購入が必要です。
 ● M-35プリンターは別購入し、専用ケーブルが必要です。
 ● 接続できる文字数やサイズなどは、オプション容量によって異なります。



8080 Communication Server ●●●●

ゼロックス8080コミュニケーション・サーバーは、遠くはなれたイーサネット・ネットワーク間上をつなぐ、情報交換、ファイルの共有化を特化して行ないます。また、他の情報機器との情報交換、特にホスト・コンピュータと接続することによって、オフィスの情報ネットワークをますます有機的に拡大します。



873 C.I.U. (Communication Interface Unit) ●

ネットワーク上において、8080コミュニケーション・サーバーの通信機能を拡大する働きをします。ホスト・コンピュータ、パソコンなどとは別に、他の情報機器との情報交換が可能です。

● 8080 File Serverの主な仕様

主記憶	250K Word(12800)
アクセス方式	1.5メガバイト/秒(非同期非連続アクセス)
固定ディスク容量	54メガバイト(5.25インチ)
機種の大きさ	幅250mm×奥行100mm×高さ242mm
機種の重量	27kg
最大消費電力	200W

● ファイル・サーバーの主な仕様

インターフェイス	12ビット
文字数	80文字(24ビット/1500文字)
文字方式	ユーザー・定義方式
プリンター	オプション
機種の大きさ	幅125mm×奥行125mm×高さ150mm
機種の重量	10.3kg
最大消費電力	100W

● プリンター・M-35の主な仕様

キーセット	ASCII型
文字	アルファベット
機種の大きさ	幅125mm×奥行225mm×高さ80mm
機種の重量	1.8kg

● プリンター・M-35の主な仕様

印字方式	レーザー・セログラフィ方式
印字速度(1/4シート)	300/分(127×100mm(幅×縦))
印刷	普通紙(80×100mm) A、L、B、S
印刷精度	1.7ドット/点(24ピッチ)
機種の大きさ	幅500mm×奥行600mm×高さ1050mm
最大消費電力	1100W
最大入力	1.5kW

● プリンター・XP-9の主な仕様

印字方式	レーザー・セログラフィ方式
印字速度(1/4シート)	300/分(127×100mm(幅×縦))
印刷	普通紙(80×100mm) A、L、B、S
印刷精度	8ドット/点(24ピッチ)
キーセット	ASCII
機種の大きさ	幅500mm×奥行520mm×高さ530mm
最大消費電力	700W
最大入力	1.0kW

● JUII XJEXR 8037 File Serverの主な仕様

主記憶	8000ワード(8000)
アクセス方式	1.2メガバイト/秒(非同期非連続アクセス)
機種の大きさ	幅125mm×奥行125mm×高さ104mm
機種の重量	57kg

● プリントサーバー

定額容量	100ワード
機種の大きさ	幅125mm×奥行125mm×高さ144mm
機種の重量	63kg
インターフェイス	12ビット
文字数	80文字(24ビット/1500文字)
文字方式	ユーザー・定義方式
プリンター	オプション
機種の大きさ	幅125mm×奥行125mm×高さ150mm
機種の重量	116kg
最大消費電力	100W

● プリンター・XP-9

キーセット	ASCII型
文字	アルファベット
機種の大きさ	幅125mm×奥行125mm×高さ80mm
機種の重量	1.8kg
最大消費電力	500W(800ワード/127×100mm(幅×縦))

● JUII XJEXR 873 C.I.U.の主な仕様

インターフェイス	RJ-22C(標準4ピン) (拡張8ピン)
機種の大きさ	幅125mm×奥行125mm×高さ100mm
機種の重量	10.3kg
最大消費電力	100W

● 使用条件

電源	AC100V×50/60ヘルツ 1.5/2.0kw
湿度	10～35℃(相対湿度)
温度	20～80℃(相対湿度)

FUJI XEROX 8080-JStarIIの主な仕様

8080プロセッサ		ラージフォーマットディスプレイ	
主記憶	576K Word (L15MB)	ビューアサイズ	17インチ
フロッピーディスク	1.6メガバイト(5¼インチ両面高密度信トトラック)	表示サイズ	1,024ドット×808ライン
固定ディスク容量	26メガバイト(5¼メガバイト)	走査方式	ラスタースキャン方式
機械の大きさ	幅20cm×奥行69cm×高さ62cm	カラー	白黒
機械の重さ	23kg	機械の大きさ	幅44cm×奥行35.5cm×高さ44.3cm
	キーボード/マウス	機械の重さ	11.4kg
キー配列	JIS準拠か6文字変換用キーボード	使用条件	
トーンジェネレーター	音量調整可	電源	AC100V±10V 50/60Hz±0.5Hz
マウス	ボタン数2(選択ボタン,調整ボタン),セミオプティカル方式	最大消費電力	330W
機械の大きさ(キーボード)	幅46.8cm×奥行20.2cm×高さ4.7cm	温度	10～35°C(動作時)
機械の重さ(キーボード)	2.3kg	湿度	20～80% RH(動作時)

FUJI XEROX 8080 StarIIの主な仕様

8080プロセッサ		ラージフォーマットディスプレイ	
主記憶	576K Word (L15MB)	ビューアサイズ	17インチ
フロッピーディスク	1.6メガバイト(5¼インチ両面高密度信トトラック)	表示サイズ	1,024ドット×808ライン
固定ディスク容量	26メガバイト(5¼メガバイト)	走査方式	ラスタースキャン方式
機械の大きさ	幅20cm×奥行69cm×高さ62cm	カラー	白黒
機械の重さ	23kg	機械の大きさ	幅44cm×奥行35.5cm×高さ44.3cm
	キーボード/マウス	機械の重さ	11.4kg
キー配列	JIS準拠アルファニューメリックキーボード	使用条件	
トーンジェネレーター	音量調整可	電源	AC100V±10V 50/60Hz±0.5Hz
マウス	ボタン数2(選択ボタン,調整ボタン),セミオプティカル方式	最大消費電力	330W
機械の大きさ(キーボード)	幅46.8cm×奥行20.2cm×高さ4.7cm	温度	10～35°C(動作時)
機械の重さ(キーボード)	2.3kg	湿度	20～80% RH(動作時)

※地裁対策キット用意しております。

※製品の仕様、外観は、改良のため予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

XEROX

富士ゼロックス株式会社
本社〒107東京都港区赤坂3-3-5
電話03(585)3211

●お問い合わせは…



品質管理の最高賞
デミング賞受賞'80

富士ゼロックスに対するご意見、お問い合わせ、苦情

などは最寄りのお客様相談センターへご連絡ください。

●札幌(011)241-0414 ●名古屋(052)571-9061

●仙台(0222)24-8211 ●大阪(06)264-7211

●東京(03)586-4100 ●広島(082)222-2400

●新潟(0252)43-8080 ●福岡(092)291-2266

●静岡(0542)84-8080 ●高松(0878)31-8080

なお、東京以外のお客様相談センターへのご連絡は、自動転送により本社(東京)で受け付けます。その場合の受付地一本社間の電話料金は、弊社で負担させていただきます。

※自動転送には約20秒ほどかかります。

XEROXは登録商標です。 宣GE-972 '84.10.'85.12